

# もしものときに備えて覚えよう「公衆電話の設置場所と使い方」

## 緊急時の使い方

事故や火事が起きたとき、救急車を呼ばなければいけないときなどは、公衆電話から無料で警察や消防署へ連絡することができます。

### 1 受話器を手にとりましょう



2 お金やテレホンカードを入らずに、警察を呼ぶときは「110」、消防車や救急車を呼ぶときは、「119」を押しましょう。



赤いボタン(緊急通報ボタン)がついている公衆電話のときは、受話器を手にとったら赤いボタンを押してから、「110」や「119」を押しましょう。

※料金 10円でかけられる秒数は、56秒です。  
※固定電話に対する料金で、国内への通話の場合です。また、携帯電話にかける場合は、15.5秒です。



地図の.....は、小学校校区を示しています。

令和7年1月31日時点の情報です。設置場所はN.T.T./東日本のホームページからも確認できます。



行先地区を選択して下部のように100番区に併せてください。

公衆電話は、災害時に通信規制の対象にはならないため、固定電話や携帯電話が繋がらない状況でも比較的つながりやすく、電話回線を通じて電力の供給を受けているため、停電時でも電話をかけることができます。災害時に有効な通信手段として活用できますので、日ごろから公衆電話の設置場所や使い方を覚えておき、いざという時に備えておきましょう。

## 公衆電話の基本的な使い方

まずは公衆電話を使って電話をかけてみよう!



テレホンカードはコンビニで買えるべえ

## 知っておきたい「災害用伝言ダイヤル 171」

災害用伝言ダイヤルとは、大規模な災害の発生によって被災地への通信が増え、つながりにくい状況になった場合に、被災地の方の安否確認などのメッセージを公衆電話から録音したり、録音したメッセージを聞いたりすることができる伝言板のような機能です。いざという時のために、使い方を家族で覚えておくことも災害時の備えのひとつとなります。

### 使い方のポイント

- ①家族でどの番号にかけると決めるか決めておきましょう
- ②伝言を残す場合の録音時間は「30秒以内」です。次の「あ・い・た・い・よ」を参考に録音してください。

### 覚えておいて！「あ・い・た・い・よ」

- あ** あなたの名前（フルネームを伝えて！）
- い** いま、いる場所（どこに居るのかを伝えて！）
- た** だれといっしょか（一緒に避難している人のことも伝えて！）
- い** いたいところはあるか（怪我や体調を伝えて！）
- よ** よこく（次にいつ連絡をするのか予定を伝えて！）

※赤いボタン（緊急通報ボタン）がついている公衆電話のときは、硬貨やテレホンカードが必要です。（硬貨やテレホンカードは、使用後にそのまま戻ってきます。）

### 災害用伝言ダイヤルの使い方

#### ●伝言録音編

- 1 受話器を手にとりましょう
- 2 「171」を押しましょう
- 3 「1」を押しましょう
- 4 相手の電話番号を押しましょう
- 5 音声案内を聞いてから、自分の声を伝言として録音しましょう

#### ●伝言再生編

- 1 受話器を手にとりましょう
- 2 「171」を押しましょう
- 3 「2」を押しましょう
- 4 相手の電話番号を押しましょう
- 5 録音された伝言を聞きましょう

